

職員用

2021年度後期(10月～3月) 第1こぼと園 児童発達支援自己評価表(のべ3名)

| | | チェック項目(修正版) | はい | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---------|---|--|-----------------------|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が保育室等スペースとの関係で適切であるか | <input type="radio"/> | | 限られた空間で親子で心地よく、安全に過ごせるような環境と療育プログラムを引き続き考えていく。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | <input type="radio"/> | | 法令で定められている人数の職員を配置している。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 | <input type="radio"/> | | 今後も子どもがわかりやすい空間を目指し、試行錯誤しながら環境づくりを進めていく。 |
| | 4 | 園の生活の流れは、子どもたちにとって分かりやすいか | <input type="radio"/> | | 療育プログラムの目的について、丁寧に説明していきながら、親子にとって無理なく過ごせる療育プログラム作りに取り組む。 |
| | 5 | 園は子どもの状況に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | <input type="radio"/> | | 実施している。引き続き、子ども達に合わせたコミュニケーションの取り方を心掛ける。 |
| | 6 | 園は、子どもたちが安全で清潔で心地よく過ごせる環境になっているか | <input type="radio"/> | | 親子が安全に過ごせるよう心がけている。安全面については、ヒヤリハット体験報告書を利用しながら職員全体での共有を行っている。 |
| | 7 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | <input type="radio"/> | | 実施している。PDCAサイクルの概念が職員間に浸透するように日々の実践の中で意識していく。 |
| | 8 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | <input type="radio"/> | | 実施している。保護者の意見から、改善できる点は早急に改善し、その他検討が必要な点については、検討・改善するようしている。 |

| | | | | | |
|----------|----|--|---|--|--|
| 業務改善 | 9 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。 | ○ | | 実施している。保護者には実施の意味とホームページ掲載の旨を伝え、評価表を配布している。 |
| | 10 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | 現時点での外部評価は行っていない。今後の検討課題。 |
| | 11 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | 確保している。研修の年間計画等をもとに今後も継続して実施する。 |
| 適切な支援の提供 | 12 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | 作成している。引き続き、日常生活場面でのアセスメントを実施しながら、児童発達支援計画を作成する。 |
| | 13 | 子どもの状態を捉えるために発達検査などの標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | 状況に応じて、個別に実施している |
| | 14 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | 引き続き、ガイドラインに則り、児童発達支援計画を作成する。 |
| | 15 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | 行っている。引き続き、児童発達支援計画を意識した療育を行う。 |
| | 16 | 日々の活動プログラムの立案を教室の職員が主となり決めているか。 | ○ | | 決めている。引き続き、職員が親子の状態に合わせてながら作成していく。 |
| | 17 | 日々のあそびなど、活動プログラムが固定化しないように工夫しているか | ○ | | 日々、職員ミーティングを行い、気づいたことを職員間で共有しながら、活動プログラムを工夫している。 |

| | | | | |
|--------------|----|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 18 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | 作成している。今後も集団活動、個別活動を組み合わせた児童発達支援計画の作成を心がける。 |
| | 19 | 登園前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | 確認している。職員間の情報の伝達漏れがないように書面での引継ぎなど工夫している。 |
| | 20 | 降園後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | 教室終了後、ミーティングを行い、職員間でその日行われた支援の振り返りや情報を共有している。 |
| | 21 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | 行っている。今後も子どもの様子を端的かつ的確に記載するよう取り組んでいく。 |
| | 22 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | 行っている。引き続き、ガイドラインに則り、児童発達支援計画の見直しを行っていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | こぼと園は市との取り決めにより原則としてセルフプランによる支給決定となっている。必要時には児童発達支援管理責任者が参画していく。 |
| | 24 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | 行っている。今後も関係機関と連携を深めていく。 |
| | 25 | 卒園の際、保護者の同意を得たうえで、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | 必要があれば、進路先への情報提供は保護者の了承のもと対応している。 |
| | 26 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | 他事業所を併用している場合はケア会議等、適宜児童発達支援管理責任者が中心に連携を取っている。 |
| | 27 | 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | 現在幼稚園等、保育園との交流は行っていない。 |

| | | | | |
|------------|---|---|--|--|
| 保護者への説明責任等 | 28 | 自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | 現在も参加している。今後も引き続き参加していく。 |
| | 29 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | 引き続き、保護者と共通理解を持てるよう取り組んでいく。また日々の関わりや面談等にて共有していく。 |
| | 30 | 保護者を対象とした支援プログラムを実施しているか | ○ | 保護者研修などは実施していないが、半年の間に2回の個別面接を実施している。 |
| | 31 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | 引き続き、丁寧な説明を心掛ける。 |
| | 32 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | 引き続き、ガイドラインに則り、児童発達支援計画の内容を保護者と一緒に検討し作成に当たる。 |
| | 33 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | 行っている。引き続き、日々の関わりや面接時に保護者の相談に応じられるよう努めていく。 |
| 34 | 親の会への活動支援など、保護者同士の関係づくりに取り組んでいるか | ○ | 親の会は行われていないが日々の活動の中で保護者同志が話しやすい環境を作るようにしている。 | |
| 35 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | 対応している。引き続き、保護者が相談しやすい環境づくりに取り組む。 | |
| 36 | 活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | 活動概要は教室開始時に配布している。その他の情報については必要時に口頭や書面で伝えるようにしていく。 | |

| | | | | |
|---------|----|---|---|--|
| | 37 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | 個人情報の取り扱いについては慎重に行っている。 他機関への情報提供を行う際には保護者の同意を得ている。 |
| | 38 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | 引き続き、子どもには予定を見て分かるように工夫したり、保護者には必要時にルビを表示するなど配慮していく。 |
| | 39 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | 現在は行っていない。今後の検討課題である。 |
| 非常時等の対応 | 40 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ | 各マニュアルは教室ごとに配布され目の届きやすい所に置かれている。 |
| | 41 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | 防災訓練は行っている。防犯訓練については今後の検討課題。 |
| | 42 | 事前に、服薬やアレルギー、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | ○ | 服薬、配慮点等の情報を適宜保護者と共有している。 |
| | 43 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | 医師の指示書の提出は求めている。おやつについては保護者に持参してもらい、提供時には必ず確認している。 |
| | 44 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | ヒヤリハット報告書を用い、事象が起きた際、速やかに報告書が作成され、回覧されるシステムになっている。 |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか | ○ | 施設内に虐待防止委員会を設置している。委員会から職員に向けて研修実施している。 |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | 身体拘束に対する取り組みについては、必要に応じて保護者と確認し、児童発達支援計画に記載していく。 |